

山本内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革） 記者会見要旨

日時：平成 29 年 2 月 21 日（火） 17：45 ～ 17：50

場所：首相官邸ロビー

（冒頭発言）

第 28 回国家戦略特区諮問会議が、先ほど終了しました。

本日は、「区域計画の認定」、「規制改革事項の追加」などを議題として、審議いたしました。

まず、2 月 10 日の合同区域会議で決定した、4 区域における合計 10 事業の区域計画を認定するとともに、羽田周辺で実証実験等を行う「東京都自動走行サンドボックス分科会」の設置について、私から報告いたしました。

次に、自動走行やドローン等の「近未来技術」の実証実験のため、事前規制・手続を抜本的に見直す「サンドボックス」制度などについて、日産自動車のゴーン取締役会長ほか 3 名の皆さんから、有意義な御意見をいただきました。

この「サンドボックス」を含め、特区法改正案に盛り込む規制改革事項について、規制を所管する大臣にも出席いただき、議論いたしました。

その結果、特区諮問会議として取りまとめましたので、速やかに法案を提出してまいります。

最後に、総理より御発言がございました。内容については、皆様お聞き及びのとおりです。

（質疑応答）

問： この「サンドボックス」制度について、ゴーン会長からは今日どういったお話がありましたか。

答： ゴーン会長からは、日産が D e N A と協力して、いくつかのフェーズに分けて自動走行の実証実験を実施していきますが、特に特区の「サンドボックス」を利用して、先端的な技術革新をしたい、そして、一般道のレーンにおいても 2020 年には実証実験を行いたい、という話がありました。

問： すみません、最後の部分。2020 年には…。

答： 2020 年に市街地で自動運転の実験を実現したい、という話でありました。

問： 今回、クールジャパン・インバウンドの外国人材については。

答： それも議論いたしました。クールジャパン関連・インバウンド対応の人材の受入れです。これも法案に盛り込むこととしました。

問： 2020年に全国レベルで自動運転を、ということですか。

答： 全国での自動運転を目指して、市街地での実証実験を行うものです。

問： 日本全国で完全に自動運転ですか。

答： 首都圏や地方都市で実験を行うものです。

問： それは、ゴーン会長の提案として、ということですか。

答： ゴーン会長の計画としてそのような話でした。2020年に市街地で実証実験を行う。完全自動走行は2020年代です。

問： 市街地での実証実験を2020年を目指して行う、ということですか。

答： 2020年に市街地でやると、2020年には市街地で走れるようにすると。完全自動運転にはもうちょっとかかるのですが。

問： 市街地で実証実験できる状況を2020年に、というのを目指してやると。

答： そうです。この計画でやるということです。

問： 外国人材受入れについては、具体的にどういったものを改正法案に盛り込むことになるのでしょうか。

答： 業種別に云々というわけではなく、エリアをある程度絞ったうえで、地域ニーズに応じた包括的な形でやるのですが、その際の具体的な内容は、それぞれの特区の区域会議で決めていくということになります。

(以 上)